

友人・知人を誘い合い

ゼロネット結成7周年

熱気あふれる11.24市民のつどいに

【お話しする人】

☆福島原発事故訴訟弁護団事務局長
馬奈木巖太郎さん

☆福島から新潟への避難者
磯貝潤子さん



当日限定販売

- ◇原告団・弁護団編「あなたの福島原発訴訟」1600円+税
- ◇白石聡、原告団・弁護団編「福島を切り捨てるのですか」600円+税
- ◇吉田千亜「その後の福島」2200円+税
- ◇避難者健診実行委員会「避難者集団検診の歩み」1000円

●11月24日(土) 13時30分

●アオーレ長岡 ホールA

(西棟1階 階段状の会場です)

一人でも多く「つどい」に参加し

福島「叫び」を共有し合いましょよう

福島原発事故で生業やふるさと、地域のきずな、家族の日常…すべてを奪われた人々、やむにやまれず裁判に立ちあがった人たち。福島原発事故から七年余が経とうというのに被害者の苦しみは続いています。

四千人の原告の弁護団事務局長を務める馬奈木さんからの被害者の生の話。長期にわたって新潟に

避難されている磯貝さんの尽くせない思い。こうした話を聞く機会はめったにありません。

出来るだけ多くの方々に聞いていただき、福島の「叫び」を共有し、柏崎刈羽原発の再稼働を許さない活動をさらに大きく

広げていきましょう。

原発推進の自民・公明に推された花角知事が「選挙公約」をしっかりと守り通すよう、これまで以上に国民世論と運動を強めていきましよう。



作成した七千枚のチラシを活用し

技大、造形大、長岡大をはじめ

幅広く参加を呼びかけています

二十四日は行事がいくつも重なっています。そんな中で熱気あふれる規模で「つどい」が成功するように、案内チラシをもって三大学と専門学校、図書館、各地のコミセン、宗教団体(生長の家、立正佼成会)を含む各種団体へ

の依頼、各種集会等での配布、市布依頼、街頭での配布、市政だよりイベントカレンダーや新潟日報のこしじウイークリー欄への掲載要請など、幅広く参加を呼びかけています。「つどい」参加者が一人でも多く広がるよう、最後まで力をあわせましよう。

最優先で「つどい」にご参加を！
会員のみなさんは次年度の更新の機会です

12月の街頭行動 12月11日(火) 16:30~17:30 アオーレ前 ご参加を！

原発ゼロ長岡市民ネットニュース

第83号 2018年11月10日発行

連絡先 広井洋子 長岡市寿2-5-15

電話・FAX 24-2870

佐藤 090-4925-3707